

## 鶴嶺東地区まちぢから協議会会議報告書

|     |            |     |                   |     |     |
|-----|------------|-----|-------------------|-----|-----|
| 部会名 | 全部会        | 会議名 | まちぢから協議会全部会会議     |     |     |
| 日付  | 令和3年11月19日 | 場所  | 鶴嶺東コミセン<br>2階大会議室 | 記入者 | 西江園 |

### ＜主な内容＞

#### 開会の挨拶(森谷会長)

コロナの感染状況も落ち着き、学校活動も動き出した。子ども見守りが10月に特定事業として正式に認められた。これにより補助金を受け取ることができ、見守り旗を配布することが出来る。多くの方が見守りに参加することにより、登下校の安全だけにとどまらず、防犯にもつながる運動として続けていきたい。

本日は、養護学校を含む小中学校8校にヒアリングを行った結果について、各部会2分ずつ報告されたい。

#### 【防災減災部会】

●鶴小(尾坂氏より) → 教頭先生に対応いただき、子どもの見守りには力を入れている印象。登校時の見守りはされているが、下校時は不十分という認識があるので、これに手を打ちたいと考えている。一斉の登下校は狭い道が危険なので、分散下校を試みるもやはり危険はある。鶴嶺神社前の道路の陥没など、自治会からも市に働きかけて欲しい。

●鶴中(高橋氏より) → 7/26に教頭先生と面会した。PTA会長もお話に加わり、学区の説明などをしてくれた。

#### 【青少年育成部会】

●円蔵中(山上氏) → 教頭先生に面会した。登下校の旗振りはしていないが、登校時は正門で委員会の生徒と教師が挨拶運動を行っている。下校時に関しては、教師が帰宅を促すなどの指導している。特に冬場は下校時には暗くなってしまい、街灯も少ない場所があり、防犯面が心配である。パトロールを行っていたが、コロナ禍で実施できていない。

#### 【地域福祉部会】

●鶴が台中、養護学校(坪井氏) → 8/18、8/25にヒアリングを実施した。教頭先生に対応してもらい、問題はあるが前向きに対応したいと回答があった。養護学校については、支援連携グループと見守りにあたっている。横断歩道の見守りは、帰宅時刻もばらばらであったり、慢性的な人員不足となっている。茂みなどの危険区域については、警察とも連携して対処していきたい。

#### 【高齢者活性部会】

●円蔵小(下江氏) → 9/13にヒアリングを実施した。児童数は433名で、踏切を渡る児童が143名いる。下校時は、学童に行く児童もいるので人数は減る。校門は、推進協を中心に15名くらいで見守りをしている。踏切は、老盛会17名体制で見守りを行っている。神明神社の周辺に住宅が増え、道の見通しが悪くなっているためカーブミラーが必要ではないかという意見も出ている。

#### 【環境安全部会】

●浜之郷小、鶴が台中(中村氏) → 鶴が台中は、校門で見守りをする程度。浜之郷小はPTAがないので校外班があり、見守りを行っている。学区に萩園が含まれており、距離的には近くても萩園通りに信号機がなく最短距離で通学できない子がいる。

#### 配布資料に関する説明(高氏より)

円蔵小については、改めてヒアリングを行う。中学校について、鶴中は鶴小と一緒にやっていることで手厚い結果となっている。養護学校については、状況が特殊なので、人員不足などに関しては手助けしたい。

通学路の安全に関しては、保護者と学校が基本だが、その二者だけでは不足していて、地域の協力が必要である。

①危険個所のチェック、②生徒への指導、③保護者のコースミーティング、④見守り講習会(旗の使い方)、⑤情報交換

☞ 以下に報告願います。

森谷会長 (〒253-0084 円蔵 1350)

松本書記 (〒253-0087 下町屋 3-7-18) matsumoto3888@gmail.com

## 鶴嶺東地区まちぢから協議会会議報告書

会、⑥広報、が必要である。

資料の試案について説明 → 防犯という意味では家の外を見るだけで抑止力となる。危険個所のピックアップについて再度行っていきたい。

ホワイトボードにパトロール箇所を記入した地図を貼ったので、参考にされたい。

工事車両の出入りがあった場所で、見守り隊員が工事関係者に話をし、登下校の時間帯に出入りを避けてもらう対応をしてもらえた事例もあります。(尾坂氏より)

まちぢから協議会の役員選考委員会の設置について(森谷氏より)

7名の方に推薦を依頼する。会長、副会長は1名ずつ、その他は決まっていないが、皆さんご協力をお願いします。

### <質疑応答>

- 見守りの実態調査について、一般部員は一緒に行動できていない感じがしてはがゆい。何か出来ることはないか。  
→ コロナ禍での活動であり、学校訪問などは人数制限の配慮も必要だった。この先はどうすれば良いか考えていきたい。
  - 信号機設置や旗の配布もよいが、「自分の身は自分で守る」という子ども達への教育については、どう考えているのか。  
→ 子どもへの指導は親からするのが一番だが、地域と三者で協力する方向で活動していきたい。
- 子どもの見守りについて、あまり熱心でない地域については、まちぢから協議会が介入することも考えられるが、基本的には地域の三者で継続できる体制にして欲しい。まちぢから協議会としては、その手助けができればと考えている。

閉会の挨拶(岩壁センター長)

コロナによって様々な活動が制限され、はがゆい思いをしてきた。みんなでワイワイ出来るような、元の当たり前の生活になるようにしていきたい。

### <次回の予定・内容>

1月14日(金) 13:00~

### <その他>

なし

☞ 以下に報告願います。

森谷会長 (〒253-0084 円蔵 1350)

松本書記 (〒253-0087 下町屋 3-7-18) matsumoto3888@gmail.com